

備前市事務事業評価シート

(平成20年度事業)

事業の概要		平成11年度～			
総合計画	大項目	基本目標	01	安全で快適に暮らせるまちづくり	根拠法令・例規等 備前市自転車等放置防止条例 放置自動車の発生防止及び適正な処理に関する条例
	中項目	基本施策	02	自然と共生するまちづくり	
	小項目	施策	02	環境美化	
事務事業名		01	放置自動車・自転車対策事業		問 答 先 職・氏名 環境課 衛生係長・森本和成 電話 64-1821

事業の実施		公共の場所（公衆用道路等）
対象 (誰・何に対して)		
目的 (何のために)		環境美化を図るため
行政活動 (どのような方法で)		放置自転車への警告札の取付、撤去、保管処分 放置自動車の撤去、処分（必要に応じて、廃物判定委員会の開催）
事業の意図する成果 (どのような状態にしたいのか)		景観の保全、交通安全の確保

事業の実績					
活動	実施項目	単位	平成18年度実績	平成19年度実績	平成20年度実績
	放置自転車等撤去	台	35	39	49
	放置自転車等処分	台	33	35	46
	引取件数	台	2	4	3
	放置自動車処分	台	0	0	6
実績	直接事業費	千円	0	0	179
	必要人員	人	0.34人	0.11人	0.18人
	必要人員	人	1,250	920	1,063
	事業費	千円	1,250	920	1,242
	事業費	千円			
財源	国	千円			
	県	千円			
	市	千円			
	その他（離島対策支援事業助成金）	千円			90
	一般財源	千円	1,250	920	1,152
受益者負担比率	%				

結果指標					
結果指標①	結果指標名	単位	平成18年度実績	平成19年度実績	平成20年度実績
	放置自転車等撤去台数	台	35	39	49
	対前年対比	%	-	11.4%	125.6%
	活動コスト	円	1,250,000	920,000	569,000
結果指標②	結果指標名	単位	平成18年度実績	平成19年度実績	平成20年度実績
	放置自動車	台	0	0	6
	対前年対比	%	-	-	-
	活動コスト	円	0	0	673,000
単位当たりコスト	円	0	0	112,167	

事業の成果					
放置自転車等人口割合	成果指標名	年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
	目標値 (A)		0.06	0.06	0.06
	実績値 (B)		0.08	0.09	0.12
		達成率 (B/A)	133.3%	150.0%	200.0%
到達目標年度 平成23年度					
成果指標設定の考え方・式や説明 (放置自転車の台数 / 4.1現在の人口) × 100					

事業の目的、対象、内容を考えながら目的妥当性の評価を行って下さい。

事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい。

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しながら有効性の評価を行って下さい。

事務事業の評価			
妥当性の評価	市の関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 市が実施するよう法令で義務づけられている <input checked="" type="checkbox"/> 法令で義務づけられていないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたさない <input type="checkbox"/> 現在市が実施しているが、実施しなくても市民の日常生活に支障をきたさない <input type="checkbox"/> 事業の内容が一部の受益者に偏っている <input type="checkbox"/> 対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている <input checked="" type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化してきている <input checked="" type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input checked="" type="checkbox"/> 厳しい財政状況であるが、実施する必要がある <input checked="" type="checkbox"/> 類似した事業がある	妥当性評価<A~E> 判定理由・課題認識
	市民ニーズ	<input checked="" type="checkbox"/> 市民・団体等から要望・要請が強い 説明	
効率性の評価	コスト	<input type="checkbox"/> 単位当たりコストは前年度と比較して改善している <input type="checkbox"/> 実施方法（派遣・委託等）を見直すことでコストを下げる余地がある <input type="checkbox"/> 事務の電子化や事務改善によりコストを下げる余地がある <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の努力はしているが、下がる余地は小さい <input type="checkbox"/> 受益者負担率は適正である <input type="checkbox"/> 受益者負担率を見直す余地がある <input checked="" type="checkbox"/> サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある <input type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で改善・研修に努めている	効率性評価<A~E> 判定理由・課題認識 事業費の大半は、人件費が占めており、コスト削減は厳しい。自転車の処分については有価物として売払い、財源としている。
	目的達成度	<input type="checkbox"/> 成果指標の設定は適切である <input type="checkbox"/> 成果指標の目標値は目標年度に達成できそうである <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は前年度と比較して向上している <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は80%未満となっている <input checked="" type="checkbox"/> 現在の事業を継続しても成果指標の向上は期待できない <input type="checkbox"/> 事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input type="checkbox"/> 事業実施等で積極的に市民意見を反映させる仕組みがある <input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> 事業のプランづくりから市民参加を得る手段をとっている	有効性評価<A~E> 判定理由・課題認識 撤去件数が微増しており、迅速な対応により、同一場所への放置自転車の発生を防止する。

平成21年度の状況		30台	結果指標量②	0	成果指標量	0.06
目標値	結果指標量①					
状況	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止
説明	市民から通報があれば、警告札の取付け、撤去、処分の手順で迅速に対応している。					

総合評価			
市民からのニーズが高く、今後とも継続していく必要がある事業である。迅速な対応により同一場所での発生を抑制することも、景観の保全に努める必要がある。コスト削減については困難であるが、事務処理等の効率化を図り、コスト削減を心がける。	評価区分<A~E>		
	妥当性	C	
	有効性	B	
	効率性	E	

平成22年度以降の方向性・内容						
方向性	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止・完了
説明						
改善がある場合	評価の視点	改善内容	改善時期	改善により期待される効果		